

Interview

勘定系・診療系・予防系の 3つの事業にフォーカスし、 ビジネス拡大を目指す

本年7月1日、NTTデータの成長エンジンとして、ヘルスケア事業領域のビジネス強化と社会基盤構築への貢献を目的に設立された「ヘルスケアシステム事業本部」。政府の施策強化や制度改革等、周辺環境の追い風もあって急成長が期待されるヘルスケア事業領域における取り組みについて、星久光執行役員・ヘルスケアシステム本部長にうかがった。



(株)NTTデータ 執行役員
ヘルスケアシステム事業本部長
星 久光氏

ビジネス拡大と社会基盤構築 への貢献が主要ミッション

——本年7月1日、NTTデータの成長エンジンとして、「ヘルスケアシステム事業本部」を設立されました。まず、新本部設立の背景と主要ミッションからお聞かせください。

星 私どもヘルスケアシステム事業本部は、本年7月1日、今年度から始まる中期経営計画を実現するための推進体制の強化を目的として実施した組織改革の一環で設立されました。NTTデータでは、ヘルスケア事業領域を「成長エンジン」と位置づけ、当該領域のビジネス強化と社会基盤構築への貢献を果たすことを明言しています。ヘルスケアの領域はIT化が遅れているといわれており、政府が進める「新IT改革戦略」においても医療のIT化は重点施策の一つとして位置づけられています。私どもは、IT化によって国民により良い保健医療福祉のサービスを提供したいという視点で取り組んでいきたいと考えています。現在、国民の多く

は、年金・税・保険料・医療費負担等の増加や医師不足に伴う医療の提供体制の維持についての不安を抱いていると思います。日本には国民皆保険とフリーアクセスという世界に例をみない制度がありますので、こういった優れた制度を維持しながらより良いサービスを提供できるようにするというのが私どもの使命だと思っています。その際、紙ベース—例えばカルテや伝票—の電子化だけでなく、業務プロセスを含め従来の仕組みを見直して、IT化することで得られる付加価値を明示できるようにしていくことが重要です。

——事業本部内の組織構成をお聞かせください。

星 私どもの事業本部は、医療福祉事業部と、ヘルスケアイノベーション事業部の2つの事業部からなっています。これまで医療福祉事業部は、旧第三公共システム事業本部の一員として従来から取り組んできた事業の選択と集中を進めるとともに、厚生労働省が医療制度改革の中で推進するレセプトの電子化に着目したビ

ジネス展開を強化してきました。またヘルスケアイノベーション事業部は、ビジネスイノベーション本部の一員として、健康増進に着目した新しい事業形態にチャレンジしてきました。それぞれの事業部においては、グループ会社であるNTTデータクリエーション(株)などと連携し、事業を推進しています。

ヘルスケアシステム事業本部としては、従来の事業領域の深堀・幅出しをするとともに、2つの事業部の得意技を活かして成長エンジンとして新たな事業を開拓していきたいと考えています。

勘定系・診療系・予防系の 3つの事業に注力

——具体的に、新事業本部としてどのような事業にフォーカスするお考えですか。

星 重点事業分野として、①勘定系事業、②診療系事業、③予防系の3

つの視点に沿って施策を展開していきたいと考えています（図参照）。具体的には、勘定系の事業では、2011年までのレセプト完全オンライン化を見据え、医療の効率化・透明性を高める電子レセプトのバリューチェーンに着目して、保険に係るシステムについて積極的に推進し、ビジネスの核にしたいと思っています。また、診療系の事業では、保険医療福祉のサービス実施機関間の情報連携を安全かつスムーズに実現し、市民のQOL（Quality of Life）向上に資するビジネスを展開していきたいと考えています。さらに、医療費抑制の観点からも国民一人ひとりが健康増進や、病気が重篤にならないように留意することが重要で、予防系の事業は、これに着目した事業です。個人が自らの健康情報を管理できる社会の実現に着目し、様々なステークホルダーへの事業展開を図っていきたく思います。この事業分野は、これまで取り組んできた様々な施策がいよいよ花開き、発展する段階にきたのではないかと期待



ヘルスケアシステム事業本部の重点3事業

している分野です。

——当面、どのような点に注力されるお考えですか。

星 成長エンジンとして、将来を見据えた次の取組みを行うことは当然ですが、19年度の最重要テーマは、実は開発です。平成20年4月には「医療制度改革」による高齢者医療制度や特定健診・特定保健指導など様々な施策が展開されます。これに向けた開発案件を受注しておりますので、まずはそれをしっかりと構築していくことが重要です。

持続性のある ビジネスの確立を目指す

——冒頭お話があったように、医療分野のIT化は遅れているとよく指摘されています。この分野の事業を拡大していくために、どのようなことが重要だとお考えですか。

星 正確には、IT化が進んでいる分野とそうでない分野が混在していると言ったほうがいいでしょう。保健医療福祉の高度化を図るという側面でのIT化は、世の中の仕組みと

密接に係り、かつ通常の商取引のIT化と異なり複雑な背景を持っていることからIT化が進んでいない面がありました。そのため技術的な実証実験やシステム構

築に補助金を出して頂いたりしてきました。しかし、システムは長期間運用して行く必要があり、補助金に頼らない持続性のあるビジネスを確立していくことが重要だと考えています。当初補助金を活用して導入したシステムもいずれ老朽化します。そのときにシステム構築経費を改めて準備しなければ時代に合った高度化したシステムに更改することができないといった問題が発生します。補助金に頼らないためには、システムを利用する際の価値をステークホルダーの方々に認識していただき、予算を確保し対価を払っていただくことが必要です。

——システムやサービスの価値を利用者に認めてもらい、ビジネスとして持続的に回っていくようにすることが重要…。

星 そうですね。ヘルスケアの領域は、IT化の進展によりデータ解析等次のフェーズへの進化が期待されています。事業を安心して進めるには、データベースやセキュリティ、ネットワーク等の要素技術が必要で、社内外の戦略パートナーとのアライアンスを強化し推進していくことが重要だと考えています。NTTデータは、新しい中期計画において、「変革の先進企業」を目指すことを宣言しました。私どもも率先して変革に取組み、成長エンジンとしての期待に応えたいと強く思っています。

——本日は有難うございました。

（聞き手・構成：編集長 河西義人）